

日本共産党区議会議員

Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告

ニュース 第38号



安倍首相の突然の辞任には本当に驚きました。前任者とは違い、自民党政治路線の本当にやりたいことをそのままストレートにゴリ押ししてきた「真面目な」安倍氏が辞任せざるをえなくなるほどに、国民の利益と今の政治と矛盾は広がっているのではないのでしょうか。

第三回定例議会の開催間近。区民の暮らしと命、未来がかかっています

第三回定例議会が9月20日(金)から始まります。共産党は宮崎克俊議員、鈴木ひろ子議員が一般質問に立つ他、収入が低く生活困難な方の区民税を減免する条例提案も行います。

国民生活をないがしろにし、弱肉強食の市場原理を考えなしに広げ、格差と貧困を拡大してきた国の政治。そしてその政治路線に、街づくり・保育・介護・教育などの分野で、基本的には無批判に追従してきた品川区政。今、「政治とは何か」「地方自治体の役割は何なのか」ということが大きく問われています。そんな中、2006年度の決算審議も含む「第三回定例議会」がいよいよ始まります。

宮崎・鈴木両区議が一般質問します

議会論戦の皮切りとなる、本会議場での一般質問は20日(金)から始まります。共産党品川区議団の質問日程は以下の通りです。

①宮崎克俊区議

9月20日(木)

午後1時30分

【後期高齢者医療を凍結せよ】「品川区の長期基本構想の策定に区民の暮らし・福祉守る視点を入れよ」
【首都直下の大地震から区民の命を守るため、住宅耐震化の推進を】「小規模校を廃止する学校統廃合をトッパダウンで進めるな」

②鈴木ひろ子区議

9月21日(金)

午後1時

【介護労働者と利用者の人権が尊重される介護保険制度に】「区もCO2削減計画を持って」
【区民生活に大打撃の消費税に反対を】
【2人目も産める本気の子育て支援を求めろ】

(※内容要旨は安藤による) 傍聴大歓迎です。区庁舎隣の議会棟4階の区議会事務局で傍聴券をもらい、6階の共産党控室において下さい。資料をお渡しします。

共産党が住民税を減免する条例を提案

議員には区長から出された条例をチェックするだけでなく、独自に条例を作り、提案する権限もあります。今回共産党は生活が困難な方に区税を減免する条例を提案します。結果など詳細は続報したいと思います。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。